

「キャッチボール禁止に伴い改正する特別規則等」

- 1、日本野球連盟（社会人野球）内規
→第14項に「ただし書き」を追記
- 2、社会人及び大学野球における試合のスピードアップに関する特別規則
→準備投球に関する事項の削除について全日本大学野球連盟と協議中
- 3、社会人野球申し合せ事項
→第12項、第15項を削除
- 4、社会人野球注意すべき規則
→第4項を削除
- 5、2018年度スピードアップ・マナーアップ要綱
→スピードアップ第6項（準備投球）を削除

・公認野球規則 5.07b「準備投球」

投手は各回のはじめに登板する際、あるいは他の投手を救援する際には、捕手を相手に8球を超えない準備投球をすることは許される。この間プレイは停止される。

各リーグは、その独自の判断で、準備投球の数を8球以下に制限してもさしつかえない。このような準備投球は、いずれの場合も1分間を超えてはならない。

突然の事故のために、ウォームアップをする機会を得ないで登板した投手には、球審は必要と思われる数の投球を許してもよい。